

能登地震の影響で4mも隆起し、漁船が使えなくなったが、むしろ好機ととらえ復興予算を使い安全で便利なスマート都市を構築する。

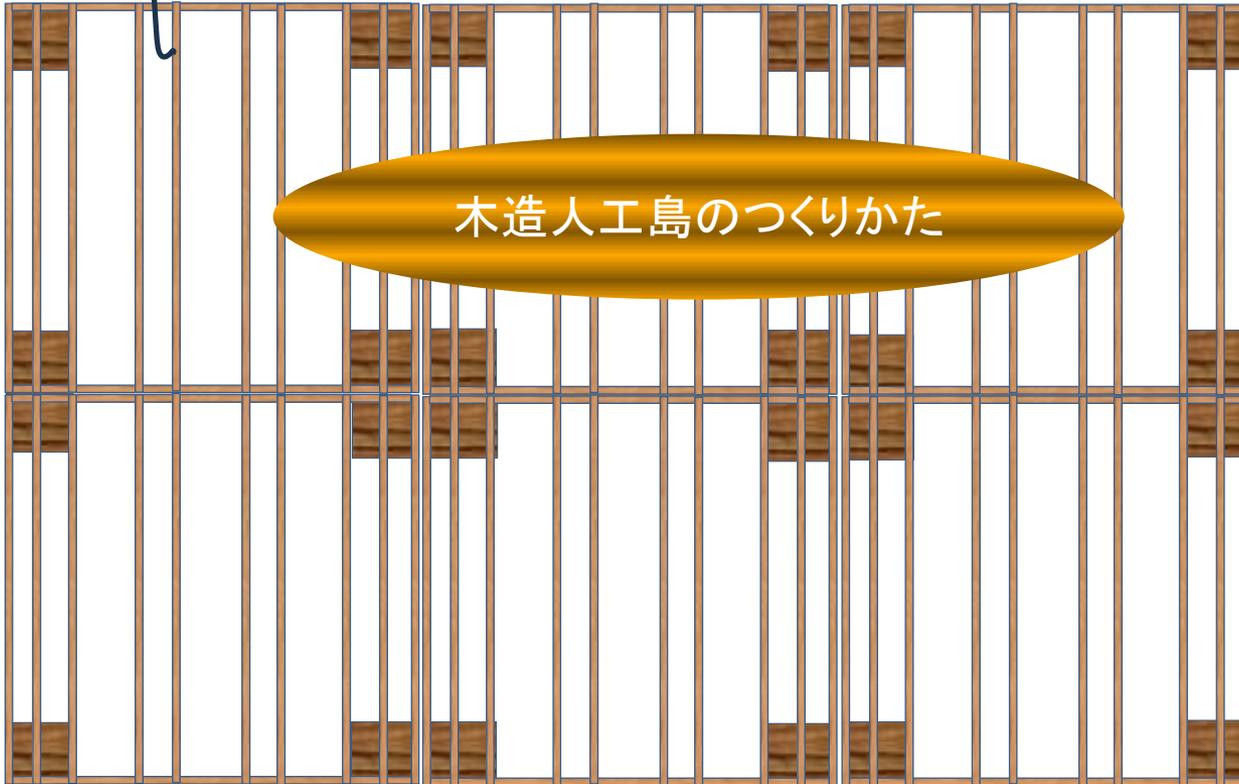
上図にて、陸地に隣接した洋上に、木造人工島を浮かべ、その上に複数の住居を設置し、該木造人工島の固定は、陸地に隣接した洋上に、コンクリートガイドを設定し、該コンクリートガイドに、該木造人工島に連結された丸太をとおして、二つの木製ストッパーで止めることで、水平方向（左右前後）には移動しないが、潮の満ち干に対応し、上下方向に移動が可能にする。

陸側にはコンクリートスロープを設定し、該木造人工島と該コンクリートスロープとの間をつなぐ、木製の渡り廊下を設定し、潮の満ち干による該木造人工島が上下に移動することに対応するよう、該木製渡り廊下にはゴムタイヤを設定する。

- < 洋上住宅は以下の7項目のメリットがある。 >
- 1 津波や余震に対し、ノアの箱舟のごとく安全である。
 - 2 納期が早い（3か月）：木造人工島及び住宅を他の海岸沿いの市町村で作し、船で運搬し、クレーンで下し、インロー設定ではめ込み接着する。
 - 3 コストが安い（陸上の1/3以下）：土地の買収なし、土地の整備不要、地震対策や基礎工事が不要です。また、道路の交通整理も不要です。
 - 4 船上スーパー、船上病院、船上市役所を設定し、船が巡回をするので、とても生活がしやすくなる。
(市街地が完全復旧しても船は便利なもの)
 - 5 復旧作業員やボランティアの人たちも住むことができ、復旧が加速する。
 - 6 洋上復旧住宅は長期にわたり（千年）住み続けることができ、コストも安く便利なので、また余裕のある居住空間が可能なので住民が増加する。
 - 7 誰でもが幸せになれる社会を構築できる。（「木造人工島」で検索され、ガーデンフィールドのホームページの「誰でもが幸せになれる社会」参照）

□12mの人工島ユニットの場合は、標準木材:3000x300x200の外枠12個&骨組み24個使用し、長さ調整材:2600x300x200を10個使用し、また、両メス型外枠材3000x300x200を2個使用し(以上は床材)、さらに2000x2000x200等の密閉木箱を用意する(total100万位?)

木枠



木造人工島のつくりかた

ユニット同士の連結は、φ100の木製のリベットで位置決めをし、木工ボンド等で接着をする。

各地の木工所(製材所)さんにて木材を所定の大きさに加工し、一度仮組をして寸法の確認をし、ばらして、部品のまま船に持ち込み、船上で再組み、クレーンで下ろして、連結していく

車や人が通る場所は、厚さ30程度の板材と手すりなどを用意する。

特許: https://ipforce.jp/patent-jp-P_B1-7112150

密閉木箱

標準的には2mx2mx2m(約8t)の密閉木箱を4個(約32t)を配置し、積載重量に応じて、数をやしたり、下側に積み重ねることもできるので、大型木造ビルが立ち並ぶ、超大型海洋都市が可能になる。

住居やビル等は、荷重を分散させながら直接建造設置する。

その他は、平均200の厚さの板材の上に、平均200の土を盛る。

120m ± 1m

工場で作り、船で曳航し、沿岸部に設置する「洋上住宅ユニット」

□20mで4軒分なので、このユニットで、100軒の仮設住宅が設置できる。(津波地震に安心、海岸沿なので便利)

120m ± 1m

フレキシブル渡り廊下(側面)

コンクリートスロープ

ゴムタイヤx2(両脇)

陸側

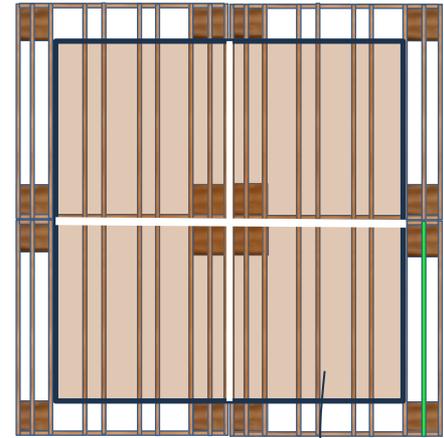
木製渡り廊下: 10~100m:
基本的に海面に浮かせる設計(しなる)
(人・自転車・バイク・小型運搬ロボ等)

木柱

密閉木箱

□20m(4軒分)x6m
(希望により二階に)

低価格(?円)短納期
(3か月)長寿命(千年)



洋上住宅

干潮時に0.1m程余裕のある位置に設定する。

ストッパー

(潮の満ち干対応)

コンクリートガイド

丸太

土地の確保不要、整地不要、基礎不要

海岸

木製渡り廊下(必要に応じ密閉木箱を付帯)

(陸側)

木造人工島の4ユニット□24mに対し、□20m(□10mの洋上住宅4軒)を海岸沿いの工場で組み立て、船で運び設置

全方位同時改革

洋上生活者を徐々に増やし、余った土地で必要な規模の「ユートピア棟(核シェルター機能付帯)」を構築する。

+「マイアバター」&「顔認証+」社会構築

人間は海から生まれた。

24時間安全に遊べる施設
ユートピア棟(仮称)

海からエネルギーと食料をもらい、
海でCO2を吸収し、海で暮らす。

多目的屋上「防球ネットを天井を含め張る」	
保育園(子供中心の遊び場): 早朝深	
大人の遊び場: カラオケ・麻雀・居酒屋	
交流広場(たまりば: 自主運営の食堂)	
18歳までの子供: (男)	18歳までの子供: (女)
元気な大人: (男)	元気な大人: (女)
元気でない大人: (男)	元気でない大人: (女)
介護を必要とする: (男)	介護を必要とする: (女)
コンビニ、コインランドリー、銭湯(24時間営業: 予約制: 2時間ごとに男女入れ替え制)	

子供食堂のイメージもある。

「誰でもが
幸せになれる
社会」構築

洋上住宅で暮らし、地震や津波等の自然災害を回避

海産物農業で、海の資源を守りながら、自給率100%

ブルーカーボンでCO2減少
社会構築(収入源↓税金0)

波力発電で全再エネ化

一月分食糧備蓄・防護服等

「核シェルターエリア」狭いながらも、インバウンド客分(予備室)を含む全戸分をバス・トイレ付帯で用意する。

海岸エリアの在住の方を中心に洋上生活を促し、海産物農業にて自給自足に近い生活をし、ブルーカーボンの収入で無税にし、波力発電で地域のカーボンニュートラルの達成と電気代を1/10にし、従来の居住エリアは「ユートピア棟(核シェルター付帯)」や地場産業の工場や商業施設や病院等、あるいは有機農業(共同作業)エリアとしたらよいと考えています。

陸



海

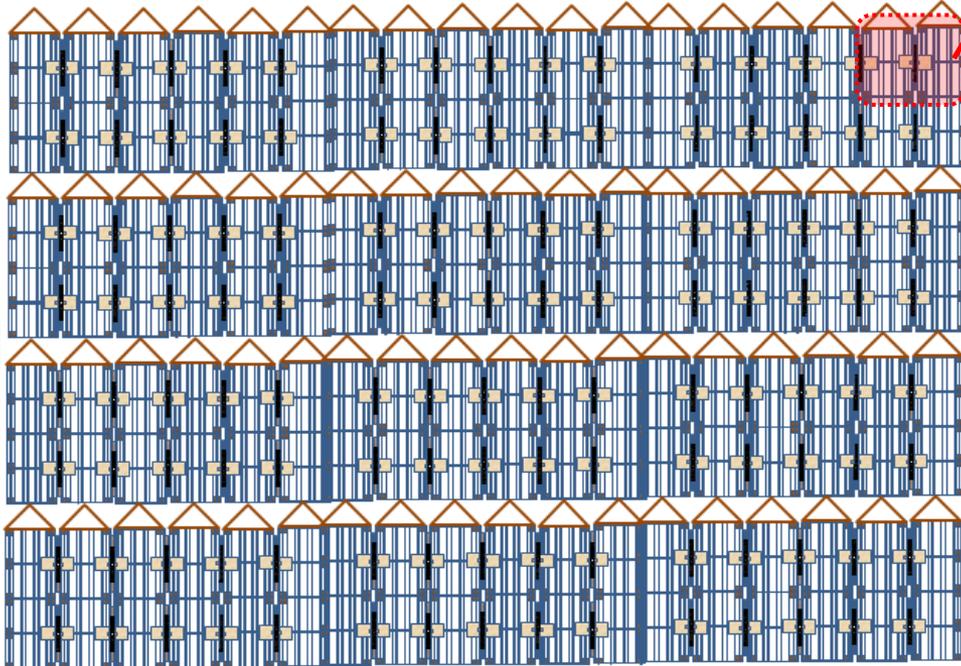
低コスト(洋上風力発電の1/200)・短納期(半年)・長寿(千年)

5/7
全ての波は海岸に向かって進みます。
波の流路を狭めることで流れが加速し、
大型水車を高速で回すことができます。

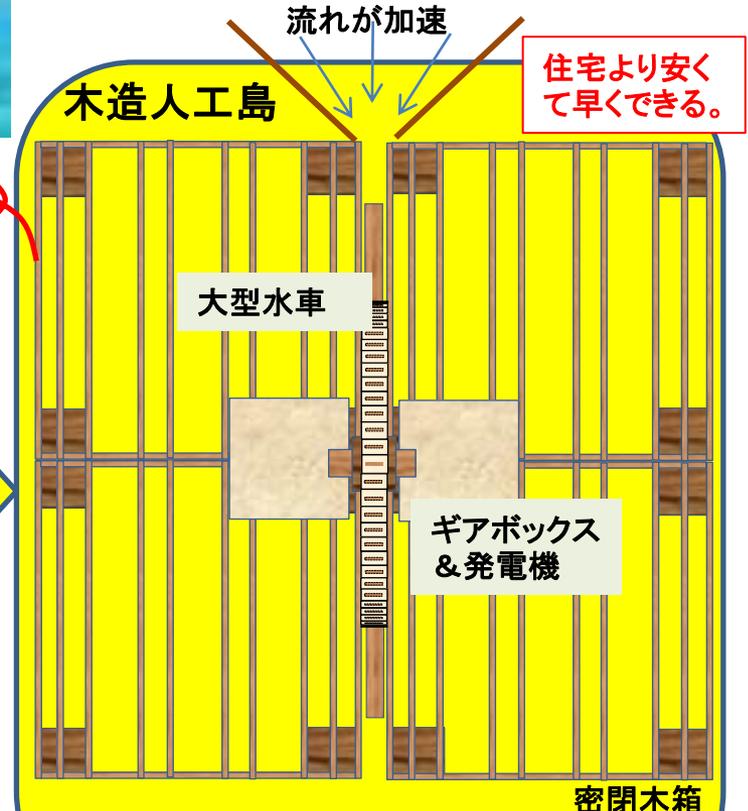
水エネルギーは空気の770倍、木製水車が世界を救う。

木造人工島の波発電は、低コスト・短納期・24時間大規模発電が可能で、環境にやさしく、森林の循環に貢献する。

大規模な拡張性



流れが加速
木造人工島
住宅より安く
早くできる。

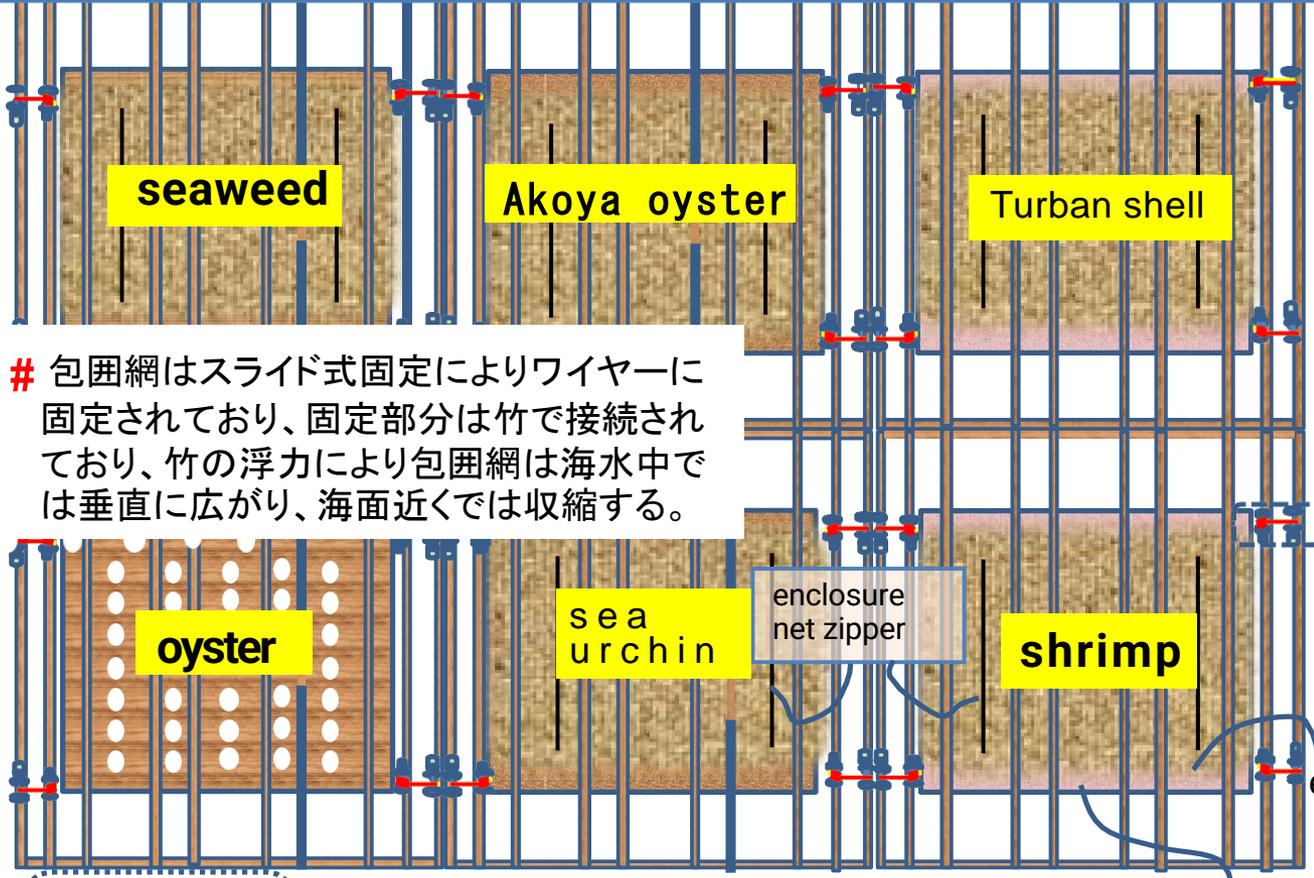


木造人工島の波発電で、全再エネ化達成

各種養殖が可能で、世界の食糧
危機も同時に救うことができます。

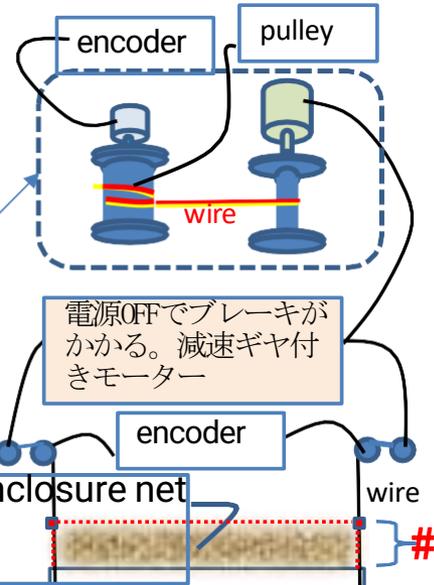
海産物農業 自給率100%

□12mの人工島ユニットの上に□8~12mの「養殖ユニット」を設置し、4本のワイヤーで吊り下げ、海水温や太陽光を考慮してAIが最適な養殖深さを制御する。

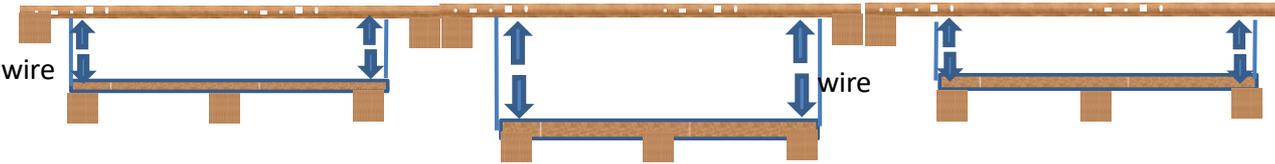


包囲網はスライド式固定によりワイヤーに固定されており、固定部分は竹で接続されており、竹の浮力により包囲網は海水中では垂直に広がり、海面近くでは収縮する。

養殖ユニットを4本のワイヤーで吊り下げ、エンコーダー付きプーリーに一度通した後、モーターで巻き取ることで正確な深さ調整が可能です。



AI自動管理システム: 温度と太陽光を考慮して、最適な深さの生育条件を作り出します。



養殖管理や収穫時は海面近くで飼育するため、潜ることなく作業が可能です。

120m ± 1m

120m ± 1m

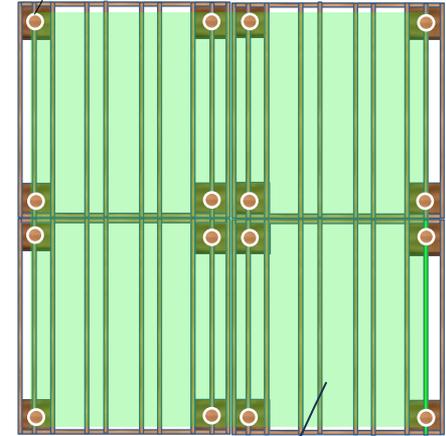
低価格(1千万)短納期(3か月)長寿命(千年)

藻の光合成では、陸上の植物の約10倍CO2を吸収する。カーボンニュートラル達成の今世紀最大の発明のひとつ。

「ブルーカーボン」
トライアルユニット

ハッチ

ポンプで水の出し入れを行う(深さ調整)



カラフルな色設定(模様)が可能

藻

密閉木箱

培養土

木枠

防魚ネット

(潮の満ち干対応:上下方向のみ移動可)

コンクリートガイド

丸太

木製ストッパー

海岸

(陸側)

培養土(木枠)位置をより深くしたい場合は、密閉木箱からワイヤーで培養土(木枠)を吊るし、必要な深さを確保する。

各市町村様にて、港湾、湖、河川敷にプールを設定し、育成条件(藻種、栄養、日照、温度等)のご研究を。

バームクーヘンを細断したユニット(地上2階海中1階&密閉木箱の構成)を全国の市町村が協力して製作する。

「千年維持ワジマ海洋都市」

：住居2万所帯+α

=住居2万世帯+ユートピア棟80棟分+大規模養殖
&海中回廊、飛び乗り可能な低速自動運転車、海中レストラン、海中ホテル、海中オフィス・・・



● = 上下方向スライド可能 & 水平方向固定位置

海中回廊&海上回廊&将来は飛び乗り可能な低速自動車が走行する。また、外周部は将来、銀河鉄道を敷設する。

海中ホテルの効用

人は海から生まれた

儲かっているIT企業の社員等、海中オフィス&ホテルで、1週間～1年滞在(テレワーク)することがステータスになる

創造性が豊かになる

木造人工島の住居は、土地代も基礎工事も不要で、地上2階、海中1階、密計木箱の部分も含め、8軒分を工場あるいは船上で組み立てるので、1軒あたり1千万程度となり4000億。ユートピア棟が、1棟25億として40棟なので1000億=tota5千億。(海中ホテル、海中オフィス、海中回廊、低速自動運転車S、銀河鉄道S等は海外からも含め企業の投資を予定)

「ワジマ千年都市」の設置方法

全国の各市町村が分担協力して、木材の供出や加工を行い、港湾のある各市町村様で組み建て、船で運搬して、船のクレーで吊り上げ・吊り下げ、木製リベット及びインローの組み合わせと接着のみで、(錆びるので釘等の金属を使わず)、組み立て完成させる。

(目標：半年～1年以内に完成させる)

→世界から木材を買い付け、24時間稼働の全自動円筒工場で製造し、GDPのUPを図る。

「ワジマ千年都市2万所帯の必要な広さ」

□24mごとに3階建：海上2階&海中1階で8軒(各家は5m x 10mで、一方通行道路4m)が建つ計算で、

□240m x 240m = 400軒、□2400m x 2400mで8万軒

(世帯)になる。2万世帯は1.2 x 1.2 = 1.44km²

ユートピア棟(200人が住み300人が常時遊べる)

のための広さ住宅1000軒ごとに1棟(□50m)が必要とすると40棟となり「50 x 50 x 40」 = 0.1km²

ワジマ千年都市の平均外半径約1.2km内半径は0.8とすると、(1.2x1.2 - 0.8x0.8) x 3.14 = 約2.6km²

AIマルチカメラシステムにより、
あたかも高速の海中スクーターに
乗り、海中を泳ぎ回る感覚になる。

A: 住宅ユニット: 高さ: 12m
5m x 10m: 海上2階、海中2階
密閉木箱(海中: 階下) x 8室
通路4m: □24m(上部□20m)

輪島の
一部

幅4m
海上通路。

幅4m
海上通路。

各ユニットのボトム
には、水中カメラ
& 照明を付帯する。

幅4m
海中通路。

EV

海面まで1.5m ± 0.5m

海上回廊: 将来は飛び乗り可能な低速自動運転車が
走行する。又、外周部は将来、銀河鉄道を敷設する

B: 観光・ビジネスユニット: 高さ6m
レストラン、ホテル、オフィス...
海側面は、硬質ガラス二重窓
通路4m: □24m(部屋: □20m)

バームクーヘンの外側と内側は海上回廊(24m)
を作り、その下側に観光・ビジネスユニット(2F6m)
を作り、内側はすべて住宅ユニット(4F12m)とする。

ユートピア棟としての特別な棟を作らずに、**A & B**
のいくつかのエリアを割り当てる。(考え方を踏襲)